

谷川：白毛門山

- ◆日程 2017年2月18日(土)
- ◆メンバー L：須田健、佐藤俊
- ◆天候 曇り のち 晴れ

早朝4:00 戸塚を出発、関越道を水上ICで降り土合駅に8:00 到着、駐車予定だった白毛門登山口の駐車場は雪で完全に埋まっていた、少し先のロープウェー駐車場に停め装備支度を行った、天候は曇りで肌寒かった。再度白毛門登山口を探す雪が1~2mほど堆積しており、よじ登って駐車場跡に入った。踏跡はあるが今日付けられたものか判らなかった、少し不安だ。

しばらく雪の深い樹林帯を進んだ、樹林帯から急登が始まり、雪も柔らかいため踏跡を外すと膝上まで埋まった、木の根本を覗くと2mくらい雪に乗っている様でした。

樹林帯は1時間ほどで抜け急登りと稜線歩きが交互に続いた、ときおり西から風雪が吹き付けます。東側に雪庇が大きく張り出しており、その裏を渡ったり踏み跡を外さないように慎重に歩いた。急な登りではスラブ壁を登っているような感じで、ピッケルを雪面に刺して手懸りにし、アイゼンを踏跡に蹴りこんで登っていました。

しばらく行くと、先行するパーティに追いつき、更に後続からも何人かやって来て、7~8人で踏跡を外さないように登る事になりました。登り行程の2/3を超えたところで、雪原になっている白毛門沢からジジ岩、ババ岩が黒く巨大なオブジェの様に現れました。天候も少し良くなり太陽が薄く見え始めていました。この辺りから雪庇の稜線を頂上まで行くルートとなっています。ときおり西側に一ノ倉岳が見え青空も見え始めました。

山頂は見えているものの先行した数人の踏跡では、ラッセルに近い状況で、まだ急登する箇所もあり、初めてのアイゼン歩行で足も上がらなくなり(途中で足が攣ったりもした)、風が吹きすさぶ中、山頂に到着した。

山頂についた頃、青空と白い雲、真っ白な一ノ倉沢を見ることが出来ました。後続パーティは来ず、途中で雪洞を掘ってビバークの様です。下山時は晴天となり、遠く武尊山まで見える程でした。

CT：ロープウェー駐車場 8:50—白毛門登山口 9:00—白毛門山頂 13:30—白毛門登山口 16:45

(記：佐藤)



